

性能試験成績書
タイタンリトラクタ式墜落阻止器具「SB - 15型」

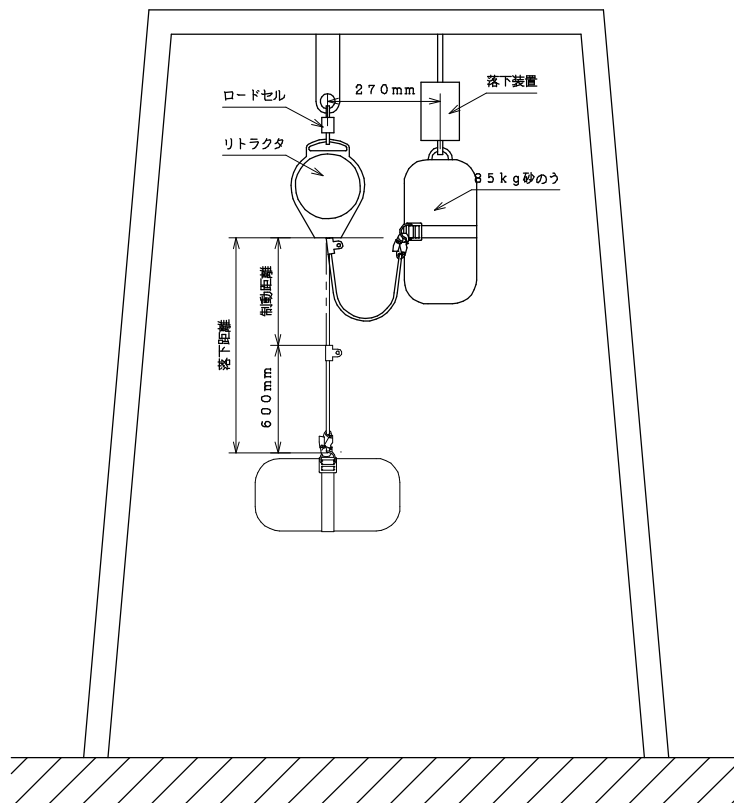
平成23年4月18日
サンコー株式会社
品質保証課



1. 試料 タイタンリトラクタ式墜落阻止器具「SB - 15型」
2. 試験実施要領 労働安全衛生総合研究所技術指針「NIIS - TR - No.35(1999)」に基づく「安全帯構造指針」に規定する試験方法により実施いたしました。
3. 試験使用機器 横型引張試験機 能力 100kN
 動ひずみ測定器具一式 能力 29.4kN
 落下試験塔 高さ 10m
4. 試験方法

4.1 リトラクタ式墜落阻止器具(以下、セーフティブロックという)の衝撃吸収性試験

下図に示すように、試験塔に取付けたロードセルにセーフティブロックのカラビナを掛け、セーフティブロックのランヤード先端のフックには重さ85kgの砂のうに掛け、ランヤードを600mm引き出した状態でセットし、落下装置により自由落下させ、破断の有無、衝撃値及び落下距離を測定いたしました。



試験結果は次ページ

安全帯構造指針	
落下体を保持し（破断せず）、最大衝撃荷重は8.0kNを超えず、落下距離は2.0mを超えないこと。	

< 試験結果 >

型式		衝撃荷重		落下距離		破断の有無
		規格値	衝撃値	規格値	(600mm + 制動距離)	
S B - 15 型	試料 - 1	8.0 k N	3.15 k N	2.0m	1390mm	破断なし
	試料 - 2	以下	3.06 k N	以下	1310mm	破断なし

4.2 セーフティブロックのロック性能試験

セーフティブロックをロックしていない状態でつり下げ、質量30kgの重りをつり下げ落下させる。この時、セーフティブロックがロックし、試験後、ロックを外せることを確認する。

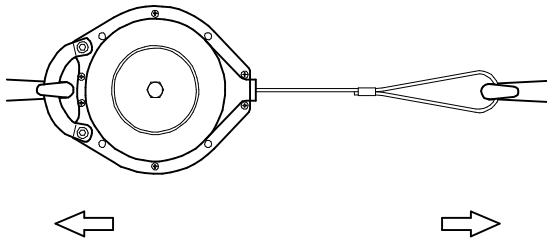
安全帯構造指針	
ロックし、ロックを解除するまでその機能を維持すること。	

< 試験結果 >

型式		ロック状態	ロック開放状態
S B - 15 型	試料 - 1	OK	OK
	試料 - 2	OK	OK

4.3 セーフティブロックの強さ試験

下図に示すように、セーフティブロックとランヤードを引張試験機の治具に掛け、引張荷重を掛けて試験致しました。



安全帯構造指針	
11.5 k N以下で破断、又はその機能を失う程度に変形しないこと。	

< 試験結果 >

型式		規格値	試験結果
S B - 15 型	試料 - 1	11.5 k N以上	14.1 k N ワイヤー破断
	試料 - 2		14.4 k N ワイヤー破断

なお、製造ロット及び試験状態により試験結果に少々のバラツキがあります。

以上